

# 會 務 報 告

第 5 卷 第 4 號 昭和 14 年 4 月

## 役 員 會

### 第 13 回常議員會 (昭. 14. 2. 13.)

出席者: 新井, 堀越兩副會長, 青木, 岡田, 金子, 高橋(嘉), 高橋(三), 中村, 森田各常議員, 眞田前會長, 君島支部長, 中村書記長, 小野寺庶務主任, 朝倉會計主任, 糸川編輯主任

### 報 告

1. 役員選舉の結果(總會議事參照)を報告せり。
2. 關西支部役員選舉の結果(理事會議事參照)を報告せり。
3. 北海道支部役員変更(理事會議事參照)を報告せり。
4. 東北支部第 8 回役員會議事を報告せり。
5. 關西支部第 12 回大會議事を報告せり。

### 議 事

1. 東北支部昭和 13 年度決算報告別紙(省略)の通り承認せり。

### 第 1 回常議員會 (昭. 14. 2. 21.)

出席者: 堀越, 谷口兩副會長, 伊藤, 稻葉, 岡田(信), 春藤, 鈴木, 高橋(嘉), 瀧尾, 百武, 松田, 村橋, 目黒, 山崎, 山中, 山本, 和田各常議員, 那波, 久保田, 青山, 井上各前會長, 中村書記長, 小野寺庶務主任, 朝倉會計主任

### 議 事

1. 昭和 14 年度理事選舉の結果次の諸君就任せり。  
稻葉通彦君(新任), 岡田信次君(重任), 高橋嘉一郎君(重任), 山崎匡輔君(重任), 山本 亨君(新任), 和田重辰君(新任)
2. 第 4 回工學會大會委員會本會選出委員は前例に依り總務部長並に經理部長を選出することとせり。  
以上の外時局對策委員會開催の件, 各大学土木科定員増員に關する件, 土木科卒業生調査の件, 上村義夫君に依る南支視察談話會の開催等に就き懇談し研究することとせり。

### 第 1 回理事會 (昭. 14. 2. 27.)

出席者: 八田會長, 堀越, 谷口兩副會長, 山崎, 和田, 岡田, 稻葉各理事, 中村書記長, 小野

寺庶務主任, 朝倉會計主任, 糸川編輯主任

### 報 告

1. 昭和 14 年度各部々長に次の諸君就任せり。  
總務部長 山崎匡輔君 經理部長 高橋嘉一郎君  
編輯部長 和田重辰君 調査部長 岡田信次君  
法制部長 山本 亨君 東亞部長 稻葉通彦君
2. 日本工學會評議員會議事を報告せり。

### 議 事

1. 昭和 14 年度會誌編輯委員會委員長及委員の選定は總務部長及編輯部長に一任することとせり。
2. 地下構造物に於ける鋼材節約調査委員會委員長に副會長堀越清六君を依頼することとせり。
3. 日本土木建築業組合聯合會鉄鋼統制委員會本會代表顧問に副會長谷口三郎君を選出することとせり。
4. 日本工學會編纂委員會本會選出委員の選定は編輯部長に一任せり。
5. 日本工學會申出に係る第 4 回工學會大會費本會負擔額に就ては可成的輕減せられる様回答することとせり。
6. 4 月 14 日頃, 次の通り映畫會を開催することとせり。

1. 日 時 昭和 14 年 4 月 14 日午後 6 時

1. 會 場 東日會館

1. 映畫目次

- A. 昭和 13 年關東及關西地方風水害の實況
- B. 關門隧道工事實況
- C. トンネル(海底隧道を取扱ひたる土木劇映畫)
- D. 歐米都市文化施設(天然色映畫)

◎有志映畫會は催さず

7. 第 28 回春季視察旅行を 5 月開催することとし視察場所その他に就ては次回協議することとせり。
8. 時局對策委員會を 3 月上旬開催し鉄道技師上村義夫君の南支方面視察談話を聴くこととせり。
9. 支那土木事業視察及慰問員派遣に關しては豫算關係を考慮し遂行することに申合せり。
10. 各学校に就き土木科卒業生數及就職關係等に關し調査することとせり。
11. 准員より會員に転格を勧誘する場合に限り爾後次の標準によることを申合せり。

1. 大学卒業生は卒業後 5 年以上其の事業に従事

したるもの

1. 専門学校及同程度卒業者は卒業後 8 年以上その事業に従事したるもの
1. その他学校卒業者は卒業後 15 年以上其の事業に従事したるもの
12. 一部會員よりの申出でに係る會費低減の件は相當考究を要する問題に就き不取敢准員會費に限り便宜の徴收方法を採り之を緩和することに申合せり。
13. 4 月支部長會議を招集することとせり。
14. 本部退任會長、副會長其の他の理事に對し就任記念品を贈呈することとせり。
15. 本會 25 週年記念事業を行ふこととし次回常議員會に於て其の方法に關し協議することとせり。
16. 入退會の件別紙の通り承認せり。
17. 各大学土木工学科定員數増加に關する件及時局對策委員會開催に就ては次回更に協議することとせり。

### 第 2 回理事會 (昭. 14. 3. 6.)

出席者：堀越、谷口兩副會長、岡田、稻葉兩理事、中村書記長、小野寺庶務主任、朝倉會計主任

### 報 告

1. 内親王殿下御誕生に就き本會外 14 學會を代表して日本工學會より賀表を捧呈せり。
2. 資産の總額並に理事変更の登記を了せり。
3. 理事変更並に事業及決算報告を文部大臣に届出せり。

### 議 事

1. 會誌編輯委員會委員選定の件は當該理事缺席に就き次回に協議することとせり。
2. 日本工學會編纂委員會本會選出委員に廣瀬孝六郎君を依頼することとせり。
3. 時局對策委員會の事業に關しては次回引き続き協議することとせり。
4. 時局對策委員會委員及幹事を次の通り変更することとし、依頼の際は一応委員長の了解を得ることとせり。

委員 伊藤 剛君、委員幹事 金子源一郎君、川口裕康君は退任、幹事に山崎匡輔君、稻葉通彦君、山本亨君、和田重辰君就任

### 總 務 部 記 事

臨時政府土木技術官歡迎會

○昭和 14 年 2 月 10 日臨時政府建設總署土木技術

官一行を午後 3 時より歌舞伎座に招待し觀劇會を開催し歡迎せり。

出席者次の如し

劉学榮君、張金鏢君、孫瑞林君、程叔泉君、劉南策君、湯震龍君、向雲衡君、彭保初君、陳雪集君、徐邦榮君、梁金銘君、秋草 勳君、佐藤寛政君、竹川清信君、新井副會長、高橋理事、中村書記長、小野寺庶務主任

### 編輯部記事

#### 第 3 回會誌編輯委員會 (昭. 14. 3. 8.)

出席者：廣瀬委員長、伊藤、太田尾、風間、黑澤、安宅、當山各委員、山崎總務部長、米川編輯主任

協議に先立つて山崎前編輯部長より退任に關する挨拶あり、続いて編輯委員長を互選の結果廣瀬孝六郎君當選す。次いで協議に入る。

#### 協議事項

1. 第 25 卷第 3 號所載の原稿の謝禮を決定す。
2. 第 25 卷第 4 號に講演「滿洲の都邑計畫」に就て、會、近藤謙三郎」を追加す。

3. 第 25 卷第 5 號登載記事を下記の如く決定す。  
論說報告：鉄筋コンクリート桁の實地計算上の若干の問題(會、元 泰常)、2 鉸拱橋の応力計算に就て(會、北澤忠男)、一土圧公式と其の因式解法(會、工博、安藏善之輔)、平行鉄管電方法による応力計算に就て(會、工博、小野諒兄、會、板倉忠三)、ハンプ換車に於ける 1 回の散転車數に就て(會、坂元左馬太)、橋脚用特殊型井筒基礎工の水平力に對する安定に就て(准、酒井信夫)

彙報：鋼道路橋設計並に製作示方書(内務省土木局)

抄録：起拱の位置による溫度応力の変化、渦運動の理論、航空寫眞測量に依る地図の作製、獨逸での航空寫眞測量に依る 1/5 000 地形図の作製、構築用木材及木材接手の耐荷力並に木材接手の疲限度、Mississippi 下流に於ける槌水路、Gdingen 港、自動車交通の運輸施設、西部諸州に於ける 1939 年道路計畫、Marne 河に架せられた新橋梁、米國開墾局の 1939 年度工事計畫概要

4. 従來論說報告には謝禮を呈せざりしも、今後は新規なるものに限り薄謝を呈することとし、これが豫算其の他に就き理事會に諮ることとす。

### 晚 餐 會

昭和 14 年 2 月 21 日常議員會終了後午後 6 時よ



入會及転格會員

會 員 (入 會)

井上正次君 内務省大阪土木出張所  
岩井四郎君 大阪市水道部技術課

大谷 英君 石川縣廳土木課  
小池賢一君 鉄道工業會社

庄子吉光君 東鉄上野保線事務所  
長井 茂君 神戸有馬 三木電鉄會社

准 員 (入 會)

阿南 清君 京城府廳土木課  
安藤 力君 岐阜縣廳土木課  
青木 壽君 海軍省建築局  
青柳敏郎君 東北振興電力會社  
有木千造君 石川縣七尾土木出張所  
伊藤道夫君 東北振興電力會社  
小田柿喜次郎君 滿鉄國工務區  
小野正良君 朝鮮釜山土木出張所  
大西正三君 京都市水道局下水課  
沖 清君 大阪市水道部技術課  
加藤雄四君 吉林省土木廳工務科  
梶原 實君 滿洲交通總局土木建設處

川名 孝君 吉林省土木廳工務科  
黒澤昇太郎君 “  
小松 忠光君 高岡波重工業會社  
近藤 旭君 東京府調布飛行場建設事務所  
權藤剗五郎君 滿鉄國工務區  
鈴木雄四郎君 帶室林野局札幌支局  
會原利治君 滿鉄國工務區  
高田 武君 大阪市水道部技術課  
竹内秀造君 東北振興電力會社  
中岡二郎君 滿洲水力電氣建設局  
中島崇介君 帶室林野局札幌支局  
橋本軍治君 神奈川縣川崎產業道路改良事務所

橋本正雄君 大阪市水道部技術課  
福田二郎君 “  
松田真市君 内務省大阪土木出張所  
宮内勝巳君 盛岡北道廳土木課  
山下 豊君 京都市水道局下水課  
横江新三君 牟田市水道課  
渡邊數夫君 東北振興電力會社  
渡邊 茂君 滿洲水力電氣建設局  
加藤輝忠君 東邦瓦斯會社  
永山三右衛門君 内務省名古屋土木出張所

学 生 員 (入 會)

赤司健一君 南滿工專  
石井系光君 京城高工  
猪股 永君 “  
岩崎謙四君 立命館高工  
尾崎 祝君 日大工学部  
王 源君 南滿工專  
笈川 勇君 早稻田高工  
河内勝正君 京城高工  
木崎八十郎君 南滿工專  
姜 榮 煥君 “  
金 大 熙君 “  
工藤正三君 “

兒玉正一君 京城高工  
菅口 勇君 南滿工專  
坂本正彦君 京城高工  
周慶璋君 南滿工專  
隅田基生君 “  
杉谷 晃君 “  
杉野信吾君 京都帝大  
杉村貞雄君 立命館高工  
會 廣 全君 京都帝大  
中條 清君 京城高工  
中島 正君 南滿工專  
濱本尙之君 立命館高工

星 太 郎君 南滿工專  
堀川儀助君 京城高工  
前田敬二君 南滿工專  
前田安巳君 “  
三好 素君 京城高工  
向井治孝君 日大高工  
村上繁雄君 仙臺高工  
村田久芳君 仙臺高工  
山本駿三郎君 南滿工專  
行則光雄君 京城高工  
横谷博行君 南滿工專  
和田捨造君 日大工学部

會 員 (転 格)

老田 務君 朝鮮總督府内務局麗水港  
修築事務所

大槻勝雄君 東鉄工務部保線課

比田 正君 内務省神戸土木出張所

特別員等級変更

日本ポルトランドセメント同業會 畑中善造君 舊3級 新2級

土木學會々員數

會 員	准 員	学生員	特別員	賛助員	合 計
3 206	3 763	1 158	82	21	8 230

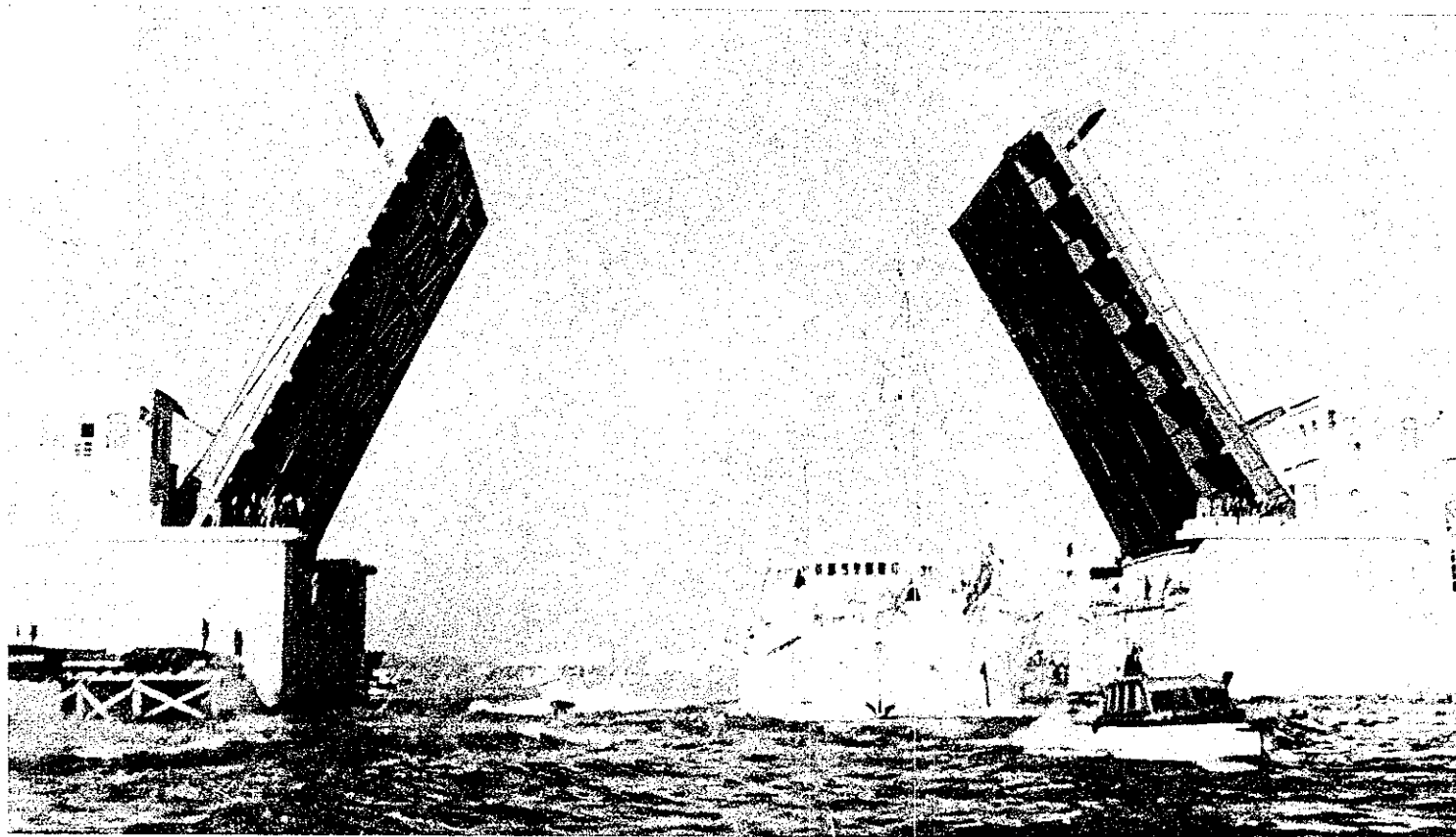
會 員 土井良太郎君 昭和 14 年 2 月 20 日逝去せられたり、本會は弔詞を  
靈前に呈し恭しく哀悼を意を表したり。

會 員 關谷新造君、山本經雄君の訃報に接す、本會は恭しく哀悼の  
意を表す。

准 員 藤野 慶君、荒川清作君の訃報に接す、本會は恭しく哀悼の  
意を表す。

# 可動橋 勝鬨橋 中央 径間

(本誌第 24 卷 第 3 號 工事寫眞参照)

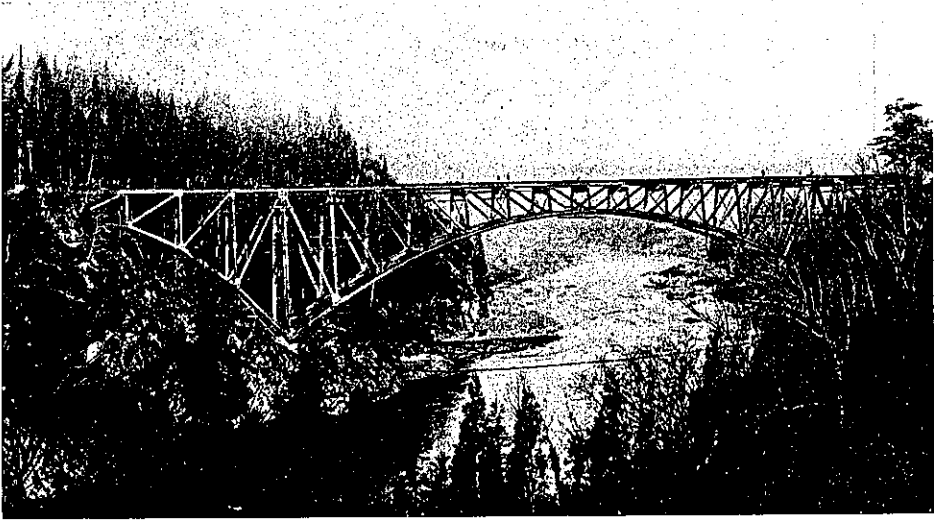


勝鬨橋中央可動径間は本年3月竣功、目下定時運転實施中である。猶本工事は築地側々径間の架設を残してゐる。全部の竣功は本年一杯の見込み。  
中央径間型式シカゴ型2葉跳開橋 44 m, 各葉は廻転軸より尖端まで 25.8 m。動力は各葉互に 125 HP 直流電動機 2 基を備ふ。50 kg/m<sup>2</sup> の風圧に抗して 1 分 10 秒にて 70 度まで開く。

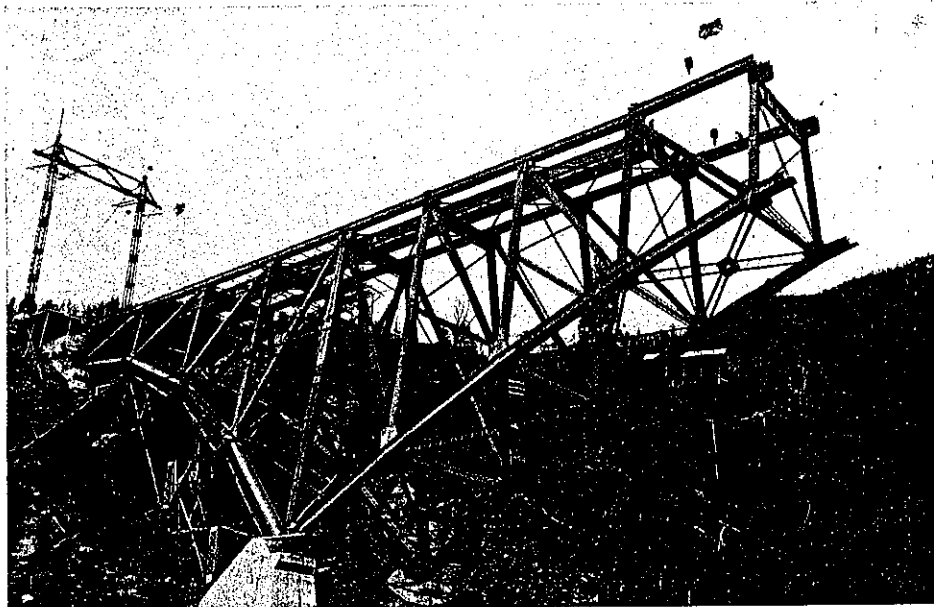
# 梁川見一只る功竣

工施轄直所務事建設東京省道鉄

全 景



中 央 径 間 架 設 中



架 橋 位 置： 福 島 縣 大 沼 郡 原 谷 村 並 に 西 方 村 に 跨 がる  
全 径 間： 176 m  
中 央 径 間： 112 m  
設 計 荷 重： K S 15  
橋 桁 總 重 量： 816 t  
竣 功： 昭 和 13 年 12 月